

## 第11回 大学施設マネジメント研究会

主催：名古屋大学

協賛：公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会

# 大学のコミッショニング（施設性能検証）と ファシリティマネジメント

### ご挨拶

名古屋大学では低酸素エコキャンパスの実現をキャンパスマスタープラン2010の目標として掲げ、CO2削減20%を具体的に実現するべく努めているところです。教育研究環境の更なる改善のため、建て替えや新営工事が行われていますが、環境の質が向上する一方、エネルギー消費はプラス方向となるため、その抑制策を徹底しなくてはならない状況です。そこで近年設備工学の実務分野で普及し始めたコミッショニング（施設性能検証、以下Cxと略記）に着目し、設備工学に加え計画意匠・構造の分野も含めた総合的な概念としてとらえ、その導入を本学の環境目標実現のための、最適な手法の一つとして取り組んでいます。

今回は、NPO法人建築設備コミッショニング協会（BSCA）を設立して活動されている中原信生名誉教授をお招きし、日本での普及の必要性と意義について基調講演をお願いしました。次いで本学で試行している設計時と施工時のCxの実施事例について太幡助教から報告を行い、更に奥宮教授がエネルギーマネジメントの観点からCxについて論じ、最後に谷口教授が大学に限らず公共的建築にこそCxの概念の導入が必要であることを、建築計画とファシリティマネジメント、あるいはコンストラクションマネジメントの観点から論じます。その後、本学でのCx対象施設の実施設計者、会場の方々を交えた議論を通じて、今後の進め方について前向きな方向性を示すことを目的とします。

■開催日時 2012年6月21日（木）

13:30～17:00（開場 13:00～）

■会場 名古屋大学 ES総合館 1階 ESホール

■会費 無料（要申し込み：定員200名）

### ■研究会次第

13:30 開催の挨拶：名古屋大学 理事・副総長 藤井良一

主旨説明・司会：名古屋大学 工学部施設整備推進室講師 恒川和久

来賓挨拶：文部科学省 大臣官房文教施設企画部参事官 山崎雅男

13:40～15:45 講演

基調講演「日本におけるコミッショニング普及の必要性と意義」

BSCA 理事長 名古屋大学名誉教授 中原信生

講演1「名古屋大学における総合的コミッショニングの事例報告」

名古屋大学 工学部施設整備推進室助教 太幡英亮

— 休憩 —

講演2「コミッショニングにおけるエネルギーマネジメント」

名古屋大学 環境学研究科教授 奥宮正哉

講演3「建築計画・FM・CMの観点からのCxの社会的インパクト」

名古屋大学 施設計画推進室長 教授 谷口元

— 休憩 —

16:00～17:00 Q&Aセッション：

パネリスト：上記講演講師及び理事

日建設計 設計部門副代表 若林亮

森村設計 環境部 吉田崇

名古屋大学 施設管理部 辻本慶太 藤丸隆志

進行：名古屋大学 施設計画推進室特任准教授 松岡利昌

名古屋大学 工学部施設整備推進室講師 恒川和久

閉会の挨拶：名古屋大学 施設管理部長 西尾和幸

■意見交換会 17:20～19:00（会費3000円）

問い合わせ・申込先：2012年6月14日（木）締切

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 施設計画推進室（担当）水谷

TEL: 052-789-3742 E-mail: mizutani.eri@a.mbox.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学ファシリティマネジメント研究会ホームページ：<http://fm.campus.provost.nagoya-u.ac.jp/index.html>